



フロアブルレジンとペーストレジンを用いた、 Ⅱ級窩洞の修復治療

コンポジットレジンを使用したⅡ級窩洞の修復治療において、ウェッジ、マトリックス、コンタクトリングなどの充填器具が重要になるが、フロアブルレジンとペーストレジンの使い分けも、適切な形態を付与するために重要である。筆者は臼歯の充填においても基本的にペーストレジンを使用するが、隣接部のフィッシュラインや象牙質のライニングにフロアブルレジンを使用している。「クリアフィル®マジエスティ®ESフロー」Low Universalの「U」と「UD」は、周りの歯質の色を反映するのでシェード選択に迷うことなく、手際よく充填操作を行うことができる。

兵庫県開業
岩田歯科医院

岩田 淳 先生



1 #46, 45 メタルインレーによるⅡ級窩洞修復症例。インレー下にカリエスが認められた。



2 インレー除去、窩洞形成後。
#45 遠心隣接面の齧蝕も除去した。



3 ボンディング処理後、隣接部にウェッジ、プロキシマルマトリックス、コンタクトリングを適合させ、#45 遠心隣接部にフロアブルレジン(「クリアフィル®マジエスティ®ESフロー」Low Universal(U))を一層充填した。



4 フロアブルレジンの硬化前にペーストレジンを充填し、エンド用ファイルで形態を整えた。硬化前にレ진을積層する場合は、硬化深度を超えないように注意する。



5 #45 遠心隣接部を光照射後、マトリックスを1枚除去し、#46 近心隣接部も同様にフロアブルレジンを一層充填した。



6 #46 近心隣接部も同様にフロアブルレジンの硬化前にペーストレジンを充填し形態を整えた。



7 光照射後、リング、マトリックス、ウェッジを除去し、隣接部の余剰レジンをもスを使用して除去した。



8 先に隣接面の充填を行い窩洞をⅠ級化させ、咬合面の充填操作に移行した。



9 フロアブルレジン(「クリアフィル®マジエスティ®ESフロー」Low Universal(UD))を充填、光照射し、象牙質のライニングを行った。



10 エナメルには、ペーストレジン(「クリアフィル®マジエスティ®ES-2 premium」A2E※)を築盛、形態修正を行なった。



11 仮光照射後、添付文書に従い光照射を十分にを行い重合させた。



12 咬合調整・研磨後、1週間経過時。

- クリアフィル® マジェスティ® ES フロー 管理医療機器 歯科充填用コンポジットレジン 医療機器認証番号：224ABBZX00170000
- クリアフィル® マジェスティ® ES-2 Premium 管理医療機器 歯科充填用コンポジットレジン 医療機器認証番号：224ABBZX00120000
- 印刷のため実際の色調と異なる場合があります。 ●ご使用に際しましては、製品の添付文書を必ずお読みください。

製品・各種技術に関するお問い合わせ

クラレノリタケデンタルインフォメーションダイヤル

 **0120-330-922**

月曜～金曜 10:00～17:00

ホームページ

www.kuraraynoritake.jp

連絡先

クラレノリタケデンタル株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目6-4 常盤橋タワー
フリーダイヤル：0120-330-922

製造販売元

クラレノリタケデンタル株式会社

〒959-2653 新潟県胎内市倉敷町2-28

販売元

株式会社モリタ

〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18 TEL. (06) 6380-2525
〒110-8513 東京都台東区上野2-11-15 TEL. (03) 3834-6161
お客様相談センター：0800-222-8020〈医療従事者様向窓口〉
<http://www.dental-plaza.com>